

話題



モデルハウス「真・京都型住宅」の内観。地階の寝室では、天井面のガラスに上階エントランスの水盤が映る。見た目にも涼やか。

京都のローコスト住宅メーカー

「CO₂ゼロ住宅」に挑戦

ローコストの住宅メーカーが、CO₂ゼロ住宅の実験に乗り出した。挑戦者は、京都市北区に本社を置くゼロ・コーポレーション。同社では2008年度の国土交通省・地域住宅モデル普及推進事業において「真・京都型住宅」のモデルハウスを京都南インター展示場に建設し、このほど同モデル住宅を使って京都大学との共同で「過酷な気候環境に耐えられる木造住宅」に2021年度EU

モデル(※)を目指したCO₂ゼロ住宅の研究をスタートさせた。同社のウリは坪28・8万円、太陽光発電付の32・2万円のローコストでありつつ、長期優良住宅仕様を全クリアし、住宅履歴書も付く高性能な注文・分譲住宅。クレームを一般消費者に全公開することで品質確保にも注力してきたことなど相まって好評を得、住宅不況の中にあっても2010年度3月期の決算で増収増益、注文住宅では契

約棟数152棟と前期比約10%の伸びをたたき出した。

たもので、「たとえば」撰氏50度の砂漠でも快適に過ごせる」など極限の環境にも耐えられ、CO₂を排出しない住宅づくりを目指したい(広報室)と、目標はどこまでも高度なところにある。

現状では、太陽光発電システムの設置や京都市域の産材「みやこ杉木」の活用、屋上緑化、宇宙服にも使用されるアルミ系遮熱材を採用するなどにとまるが、「いずれは自然を汚さない排水・浄水システムや燃料電池・蓄電池を使ったスマートエネルギーハウスなどにも取り組みたい(広報室)」と意欲的だ。

同モデルは顧客心理にもプラスに働いている模様で、営業部の広原主任によると「手ごろな価格のローコストメーカーでありつつ、研究開発力を持つことに安心感を持ち、ファンになってくださるケースが多い」と注目が集まっている。

「真・京都型住宅」は、こうした性能・品質の高さを将来的にさらにレベルアップさせる目的で建設し

また、モデル住宅の構造には宮崎県産のスギを利度以降に新築する住宅やオフィスビルについて、原則としてCO₂を実質的に排出しない「エコ建築物」となるよう義務付ける規制導入に加盟国が合意しており、2年以内に国内法が整備される見通し。

「手ごろな価格のローコストメーカーでありつつ、研究開発力を持つことに安心感を持ち、ファンになってくださるケースが多い」と注目が集まっている。

また、モデル住宅の構造には宮崎県産のスギを利度以降に新築する住宅やオフィスビルについて、原則としてCO₂を実質的に排出しない「エコ建築物」となるよう義務付ける規制導入に加盟国が合意しており、2年以内に国内法が整備される見通し。

約棟数152棟と前期比約10%の伸びをたたき出した。同社のウリは坪28・8万円、太陽光発電付の32・2万円のローコストでありつつ、長期優良住宅仕様を全クリアし、住宅履歴書も付く高性能な注文・分譲住宅。クレームを一般消費者に全公開することで品質確保にも注力してきたことなど相まって好評を得、住宅不況の中にあっても2010年度3月期の決算で増収増益、注文住宅では契



アルミ系遮熱材「アストロ」

現状では、太陽光発電システムの設置や京都市域の産材「みやこ杉木」の活用、屋上緑化、宇宙服にも使用されるアルミ系遮熱材を採用するなどにとまるが、「いずれは自然を汚さない排水・浄水システムや燃料電池・蓄電池を使ったスマートエネルギーハウスなどにも取り組みたい(広報室)」と意欲的だ。

同モデルは顧客心理にもプラスに働いている模様で、営業部の広原主任によると「手ごろな価格のローコストメーカーでありつつ、研究開発力を持つことに安心感を持ち、ファンになってくださるケースが多い」と注目が集まっている。